

4月開催 櫻坂5thアニラ キービジュアル解禁



公開された「櫻坂46 5th YEAR ANNIVERSARY LIVE」キービジュアル

OSRIN氏 「新世界」以来タツグ

「いつまでも咲きほこれ」祈り込め

櫻坂46が、4月11日・12日にMUFJスタジアム(国立競技場、東京・新宿区)で開催する「5th YEAR ANNIVERSARY LIVE」のキービジュアルとロゴを公開した。

OSRIN氏は「櫻の5年という節目に過去ではなく行く末を想像しにいたい。20年後まだ櫻が咲いているのであれば、この時代の彼女たちは白の創世記だと思っ、どうかいつまでも一本が咲きほこつてくれ、そう残るように祈りを込めた」とコメントを寄せた。

ラジオ聴取率調査

「松田好花ANNX」V11

メンバー出演ワイド番組好調

ビデオリサーチ社の調査によると、昨年12月8日から14日に行われた「首都圏ラジオ聴取率調査」の結果を公表した。ニッポン放送では「日向坂46・松田好花」のオールナイトニッポンX(クロス)が、昨年12月8日から14日に行われた「首都圏ラジオ聴取率調査」の結果を公表した。

イトニッポン(水曜25時00分)が25回連続の同時帯首位となった。同番組は井上和(乃木坂46)が3代目パーソナリティに就任してから初の調査期間内放送となり、井上の母がサプライズで電話出演するなど盛り上がりを見せた。

岡本姫奈出演 舞台「ゲゲゲの謎」開幕

「沙代ちゃんとして一生懸命生きたい」

岡本姫奈(乃木坂46)が出演する舞台「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」がサンシャイン劇場(東京・豊島区)で開幕した。

本作は、2023年に公開された長編アニメーション映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」を舞台化したもの。のち

「目玉おやじ」となる『鬼太郎の父』と、人間の男「水木」の出会いを通じて、鬼太郎の誕生へとつながる前日譚が紡がれる。脚本を少年社中の毛利亘宏、演出を柿喰う客の中屋敷法仁が担当し、音楽には映画版と同じく川井憲次が名を連ねた。

舞台は1956年、日本の政財界を裏で操る龍賀一族が支配するある密命を帯びて村を訪れたサラリーマン・水木は、そこで行方不明の妻を捜す幽霊族の男・鬼太郎の父と出会う。二人は龍賀一族の凄惨な跡目争いに巻き

込まれながら、村に隠された真実と怪奇に立ち向かっていく。龍賀沙代役を演じる岡本は初日公演に際して行われた囲み取材に共演者の鈴木拓樹と村井良大、演出家の中屋敷法仁と共に登場した。岡本は「グループを離れて初めて挑戦する舞台に、この本当にすばらしいキャストの皆さま、スタッフの皆さまと参加させていただけただけだが、『本当

に恵まれてるな』と感じる日々だった」と述べ、続けて「稽古中から分らないことだったり、できないことがいっぱいあったんですけど、その度に助けを求めていた。なので、(稽古期間は)すごく成長できた期間になったと思う」と笑みを見せた。さらに、「今まで積み重ねてきたものを信じて、今日から千秋楽まで龍賀沙代ちゃんとして一生懸命生き

報道番組「ニュースステーション」

キヤスターを18年半務めた久米宏氏が逝去された。各番組が彼を追悼する中で、とりわけ報道畑に育つ者は「Nステ、久米氏はテレビ報道の革命児だ」と礼賛するが、ここではあえて久米氏の功罪の「罪」に焦点を当て、現代の日本における報道機関のあり方を嘆く。

「Nステ」の功罪

「ニュースステーション」は、本来の報道番組からは逸脱した「エンタメ」でもある。それはキヤスターが私見を述べる姿勢を良しとしたためだ。報道機関は本来、主権者たる国民に代わって政治や経済、社会的事象を取材し、結果を国民に伝達することが役割であり、報道番組の存在はその手段に過ぎない。「ニュースステーション」は、キヤスターやコメンテーターが述べる私見を報道の一部として放送し、それが世論の大部分であるかのような放送姿勢を続けた。「事実」と「意見」を混同する報道スタイルを成立させたのだ。

報道機関が目を背く

現代の日本の報道機関は「糸電話の糸が身勝手に喋っているよう」と揶揄される。SNSがインフラとさえなった令和の時代において、「ニュースステーション」を模倣した報道番組の時代は終焉を迎えている。

編集部感

阪北区、7日・8日、イブ配信や千秋楽のラに鳥栖市民文化会館、イブビューイングの実(佐賀・鳥栖市)にて、ブルーレイの発売も決定している。

「たい」と意気込んだ。本作の上演時間は休分。公演は今年25日ま

で上演され、その後、29日から来月2日まで梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ(大

パネル展全国9か所展開 テーマ「梅ちゃんに 恋するイタリア旅」

梅澤写真集

光文社が来月3日に発売する梅澤美波（乃木坂46）のセカンド写真集「透明な覚悟」のパネル展の開催が決定した。光文社が公式X（旧ツイッター）を通じて発表した。

パネル展は全国全9か所の書店で発売日以降順次展開される。統一テーマとして「#梅ちゃんに恋するイタリア旅」を掲げ、各店舗ごとに設定されたテーマに沿った写真がパネル加工され展示される。各書店の展開内容は次の通り。紀伊國屋書店新宿本店（東京・新宿区）|| テーマ「イタリアの街に溶け込

む！クール梅ちゃん」（2月3日〜16日）、SHIBUYA TSUTAYA（東京・渋谷区）|| テーマ「お酒もスイーツも：もぐもぐ梅ちゃん（同期間）、HMV&BOOKS SHIBUYA（東京・渋谷区）|| テーマ「何気ない仕草にキュン！スイーティー梅ちゃん」（同期間）、タワレコード渋谷店（東京・渋谷区）|| テーマ「旅の合間に見せたナチュラル梅ちゃん」、星野書店近鉄パッセ店（愛知・名古屋中村区）|| テーマ「ふとした瞬間の表情がチャームイン！グ梅ちゃん（同期間）、

紀伊國屋書店梅田本店（大阪北区）|| テーマ「晴れ女の本領発揮！サンシャイン梅ちゃん」（同期間）、TSUTAYA EBISU（大阪中）|| テーマ「夏央区」|| テーマ「夏の思い出を胸に：エモーション！梅ちゃん」（2月3日〜23日）、ヨドバシカメラマルメディア京都店（京都市下京区）|| テーマ「カメラがとらえたラブリー梅ちゃん（同期間）、コーチャンフォー新川通り店（北海道・札幌北区）|| テーマ「美しさとしなやかさと：エレガント梅ちゃん」（2月4日〜17日）

深夜に2.5時間生配信

最大同接1.7万人が夜を明かす

「松田好花DAY」



「真夜中の松田さん」配信より

日向坂46の公式YouTubeチャンネル「日向坂ちゃんねる」では11日、特別企画として「松田好花DAY Y!」を開催。「昼中の松田さん」と「真夜中の松田さん」の二部構成で行われた。

第一部は「昼中の松田さん」ゆつたりまったりコメントラリー「ああ眠れない」

上村ひなのの ブログ毎日更新1年達成

「表に出る恐怖心なくなった気がする」

上村ひなの（日向坂46）が13日、自身のブログを更新し、1年間



梅澤美波2nd写真集「透明な覚悟」先行カット第11弾＝写真集公式X（旧ツイッターより）

の毎日ブログ更新の達成を報告した。上村は「2025年1月13日から本日2026年1月13日まで丸1年間毎日ブログ更新に成功しました」と報告し、「1年間ブログを読んでくださった皆様、そして更新を支えてくださったスタッフの皆様。本当にありがとうございます！」と感謝を綴った。



上村ひなの（日向坂46）

「数え切れないほどの皆さんの思い出がありですが、そのどれも毎日ブログと共に歩むことができました。毎日夕方過ぎになつてくると何書こう。載せられる写真探さなきゃ」とずっと考えていたような気がしますが、「毎日ブログ更新を」と述べて「ずっと苦手だ」と思っていた自分の意見を言う、ということにも少し慣れてきました。それと、自分の姿を写真に撮って載せ続けたことで、以前よりも表に出ることへの恐怖心みたいなものがなくなってきたような気がします」と自身の思考にも変化があったと振り返った。

出演となる動画も選出され、松田の注目しているポイントが語られた。（紹介された動画は「週刊坂道 on web」にて掲載）

第二部は「真夜中の松田さん」今夜は朝までオールナイト「もう眠くない」として、グループのユーチューブ生配信として史上最も遅い26時30分（12日2時30分）から配信された。小豆色のジャージ姿に丸メガネ、胸元には松田と大きく書かれ、髪型はちよんまげヘア（松田曰く「おんぶちゃんへ

は封印していた。しかし、そんな松田が配信中に「夜食、食べない？」と取り出したのは、片山紗希からプレゼントされたというインスタントの納豆そば。加入時の納豆好きキャラと、新たに定着した蕎麦キャラが合わさった一品を、配信スタジオで納豆の匂いを充満させながら、松田は堪能していた。

「もう眠たい人いるよね、私も眠たい。1回寝る？寝ていいかな？1回寝るわ」と、松田は生配信中に寝始めた。松田は大野愛実からプレゼントされたアイマスクをつけ仮眠。「各々寝てください。寝れない人はチャットで盛り上がりませんか？」と眠りにつく松田が映り続け、前代未聞の光景が配信されていた。

仮眠から約15分後、画面上には「今から松田を起こします。音量注意！」と書かれたカネベが表示される。ほどなくして眠る松田の真横に銅鑼の音で起こされた。突然の爆音に「うわっ！」と飛び起きた松田は、「エッヘッヘッ」と笑いながら「待って、まだ寝たかも」「これが世の中に流れているってことですか？」と吹きながら状況を把握した。この時点の同時接続数は1万5953名とのことで、多くの人が松田の寝起きの瞬間を見守っていた。

寝起きでぼんやり状態の松田は、口調もフワフワする中、寝起き一杯でコーヒーを淹れることに。その間「この配信を見ているメンバーがいたら連絡してほしい」という松田の山口陽世と同期の金

村美玖から連絡が届いていた。配信を全て見ているという山口からは「酔ってますか？大丈夫ですか？」「一緒に夜映画を観た、あの時のテンションと一緒にだなんて思って。怖かった」と、配信中の松田が深夜テンションで、普段とは違う様子だったことが明らかに。一方、寝落ちして途中から配信を見ていた金村に対し、松田は通話中に電話をガチャ切り。まるで「オールドリーのオールナイトニッポン」にて、若林正恭が話している途中に一方的に電話を切る恒例のやり取りを思わせる場面に、金村からはすぐに折り返しの電話が入り「ちよっと：ひひひよ」「なんだなんだ、喧嘩か？」とお怒りの様子だった。そんな金村に「みくちちゃん」と酔っ払いのように絡む松田に対して金村は「ああ〜ヤバイ」と語

今後については「毎日書いていきたいところですが、このままずっと続けていたらせっかくのブログという場が楽しいものではなくなってしまうようなので！丸1年を区切り書きたい時に書きたいだけ書く、という本来のブログのスタイルに徐々に戻していけたらなあと思います」と、毎日ブログ更新については終結することを報告した。